

## **Eアジ寺子屋開講記念 特別勉強会**

# **協議会からのご挨拶と 「リーンソフトウェア開発と組織改革」の 翻訳について**

---

**2012年4月11日**

**E-AGILITY協議会会長**

**要求開発アライアンス理事**

**依田 智夫**

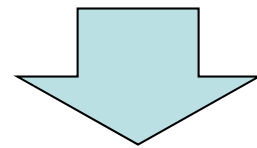
# 第1回勉強会

---

- 13:20 受付開始
- 13:40~14:00 協議会からのご挨拶と翻訳について  
依田 智夫（株式会社シナジー研究所 代表取締役）
- 14:00~15:30 「リーンソフトウェア開発と組織改革」  
メアリー・ポッペンディーク氏（Poppendieck, LLC）
- 15:30~15:40 休憩
- 15:40~16:10 ユーザー企業における開発手法転換の必要性  
中山 嘉之（麒麟ビジネスシステム株式会社 プリンシパルITアーキテクト）
- 16:10~16:40 Q&Aコーナー
- 16:45 終了

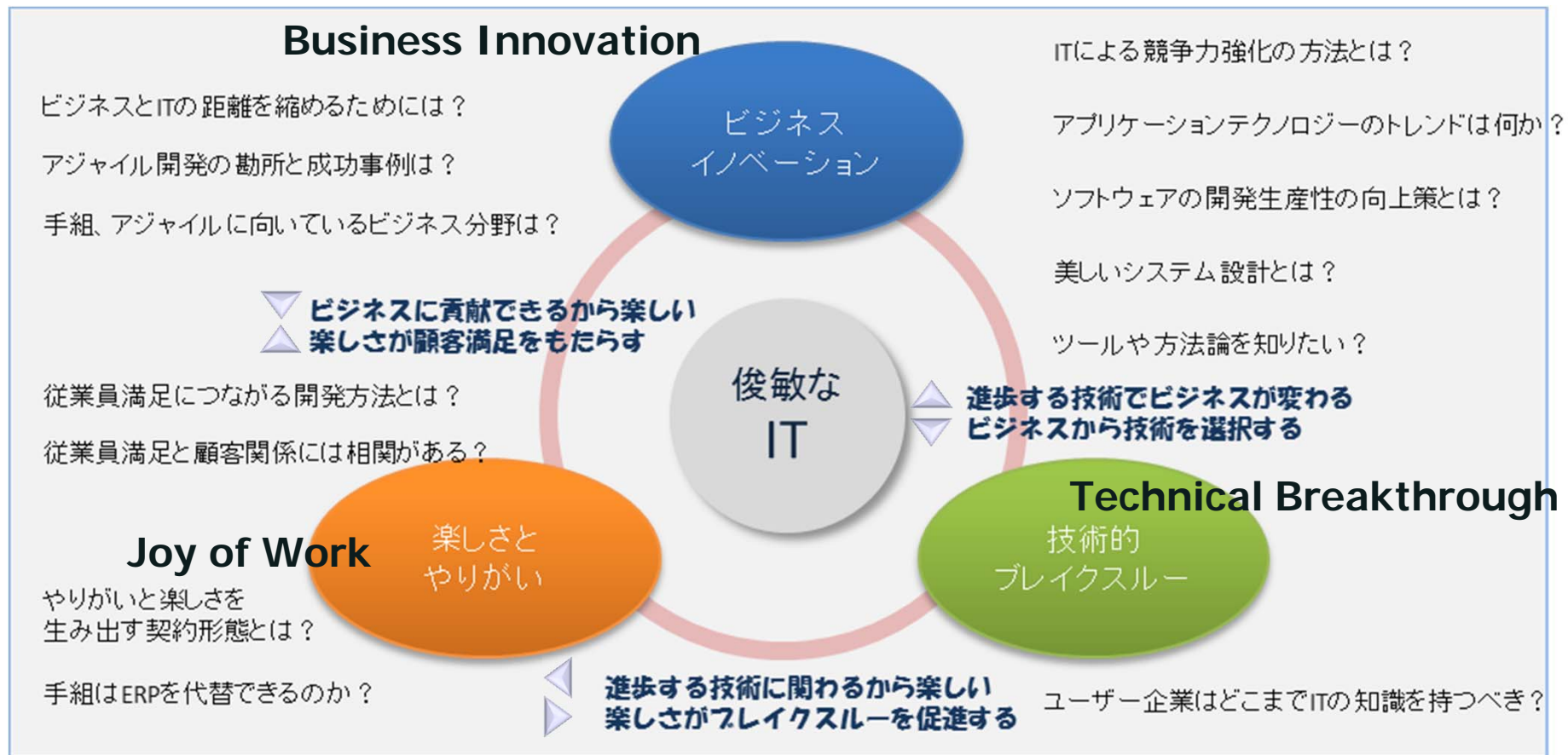
---

**E-Agility協議会は  
ユーザーと開発者の  
協力関係を支援し加速したい。**



**俊敏なIT(Agile IT)へ**

# 俊敏なITで実現されるもの (Agile IT)



# E-Agility Conference



## □ 2010 (第0回)

- そのアジャイル開発は大丈夫か
- 当社のシステム開発方法論とS Iベンダーへの期待

## □ 2011 (第1回)

- ユーザー企業の今、これから
- 「アジャイル開発によるユーザー企業の有り方」  
～アジャイル開発にどの様に関わるか～
- ソーシャルゲーム開発における アジャイル開発事例

## □ 2011 (第2回)

- 手組み2.0が求められるビジネスアプリケーション
- 「納品しない受託開発」にみるソフトウェア受託開発の未来  
～IT投資に対するソフトウェアの価値を最大化できるビジネスモデルとは～
- 特別講座 「アジャイル開発とデータ管理」

## □ 2012 (第3回： 7月を予定)

# Eアジ寺子屋 予定テーマ

---

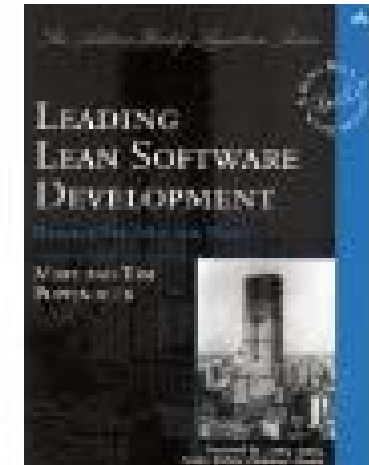
- BA (Business Analysis)
- 要求開発
- 人間力強化
- アジャイル事例
- グローバル開発
- これからの契約形態
- アジャイル+クラウド
- リーンソフト開発
- ドメイン駆動設計
- エンタープライズ(E)な手組

# リーンソフトウェア開発と組織改革

**Leading Lean Software Development: Results Are not the Point** By Mary And Tom Poppendieck

- 第1章: システム思考
- 第2章: 技術的卓越性
- 第3章: 確実なデリバリ
- 第4章: たゆまぬ改善
- 第5章: 人こそすべて
- 第6章: 連携型リーダー

2010年 日本語版翻訳  
依田光江(訳) / 依田智夫(監訳)



# 監訳者あとがきより (From My Afterword)

---

- Thank you Hiranabe-san!
- 本書は、ビジネス書、それとも技術書？
- ソフトウェア開発と収益について考えさせてくれる
- 障害や制約を克服するための知恵が学べる本
- 第4章「たゆまぬ改善」 (Relentless Effort)
  - Frame 13: 完璧を視覚化する (Visualize Perfection)
  - Frame 16: 改善の仕方を学ぶ (Learn to Improve)
    - 何故を5回繰り返す (Five Whys)
- 第5章「人こそすべて」 (Great People)



# 私が著者に聞いてみたいこと

---

- 日本のソフトウェア産業は決して強い産業とは言えない。
- しかし、リーンソフトウェア開発のベースであるリーン思考には日本の伝統が息づいている。
- リーン思考で日本の製造業がNO1になれたのだから、リーンソフトウェア開発で、日本のソフトウェア産業はNO1になれるはず。
- どうすれば最も早くそこに到達できるのでしょうか。

一緒に新しい時代の息吹を感じて、  
深呼吸しましょう！



**E-AGILITY 協議会に  
参加する !!**

E-AGILITY 協議会に参加希望の方は  
こちらからご登録ください

**CLICK HERE**

<http://pw.tech-arts.co.jp/e-agility/>